

地域サポーターの紹介



遠藤 義輝さん
(羽沢在住)

富士見市環境施策
推進市民会議推進員

の中に空き缶や空き瓶などを混入して、平気で捨てる方も見られます。このようなゴミは「きちんと分け兵衛」というステッカーが貼られ、きちんと分別されないかぎり回収されません。夏は衛生的にも環境的にも良くありません。夏は一人一人の良識にたよるほかありませんが、ご協力をお願いします。

世の中の環境を良くするのも悪くするのも我々人間です。環境問題をおろそかにすれば、我々の生活の上のしかかかってきます。市民一人一人の意識改革により、生活の向上につながれば、すばらしい事と思います。今後我々推進員も、いろいろなキャンペーンを通じて市民の皆さんとのふれあいを大切にし、努力してまいりますので、ご協力をお願いします。

富士見市には、55の町会があります。各町会から2人ずつ、市の環境施策推進市民会議推進員として、町会長を始め町会の役員の方々の協力をいただきながら、環境事業を進めています。私も8年前に町会長となり、それ以来環境問題に取り組んできました。

富士見市をきれいにする条例が施行され、7年になります。施行される以前は多くのゴミや空き缶が捨てられていましたが、推進員の皆さんや各町会、老人会の皆さんの協力でクリーン作戦が行われ、市内も大変きれいになってきました。

また、ゴミの分別に対しても、一段と強化されていますが、中には紙くず



地球温暖化防止、水切り推進キャンペーン

高齢者の

”いきいき”

ライフ



みんなで楽しく、ウォーキング
健康増進センターが開催したウォーキング教室を修了した皆さんで、定期的にウォーキングを楽しんでいるグループを紹介します。

ウォーキング教室への参加は、1人で参加する方や友人と一緒に参加する方がいます。目的も、正しいウォーキング方法を知りたい方や新しい友だちと出たい方など、さまざまです。今まで知らなかった方が「歩くこと」を通じて、仲間になっていくことができます。1人で歩く楽しさもあるところがウォーキングの魅力です。



どのグループも活動日には、「元気だった?」「雨は大丈夫そうかな」「今日はどこを歩く?」など、集合したそばからおしゃべりに花が咲きます。お互いに近況を報告し合い、体調を確認して、いざ出発です。

歩くときは、花や木に目をとめ、鳥のさえずりを聞き、季節を感じるようになります。それらも入ってこないほど、おしゃべりに夢中になってしまうこともあります。ウォーキング終了後には、次回のコースを確認し、水分補給で一息つきます。そこでも、活発なおしゃべりタイムとなります。「教室参加当初は、こんなに誰かと話をするとは思っていません。自然と話が弾んでいるのが、不思議です。」と感想を語られる方もいます。ウォーキングで健康づくりと仲間づくりを同時に行える良さを、ぜひ実感してみませんか。

ウォーキンググループは現在12グループあります。どのグループも新しいメンバーを募集中です。詳しくは、お問い合わせください。

問合せ/健康増進センター

049-252-3771